

# 第五中学校区義務教育学校 開校準備委員会 NEWS【No.5】

令和4年12月 編集・発行 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会

令和4年11月18日(金)、二色小学校において第5回貝塚市立義務教育学校開校準備委員会が開催されました。まず研修として、本市の小中一貫教育推進協議会委員として第五中学校区の小中一貫教育の立上げにご尽力いただいた、前大阪人間科学大学学長の田中 保和先生にご講義いただきました。 ※裏面に研修の内容を掲載しています。

次に事務局から、12月に実施予定の制服や給食に関するアンケートと、校歌・校章デザイン募集の案が示され、その内容について協議しました。

## 義務教育学校の制服や給食に関するアンケートを実施します

12月6日(火)~22日(木)まで、二色小学校に進学予定または二色小学校・第五中学校に通うお子様がいる世帯を対象に、制服・体操服・給食に関するアンケートを実施します。

12月6日(火)までに、二色小学校・第五中学校に通うお子様がいる世帯には学校から、未就学児のいる世帯には教育委員会から郵送で、アンケート用紙をお届けします。

(用紙が複数届く場合がありますが、1世帯につき1回のみ、ご回答ください。)

世帯を対象としたアンケートを実施する前に、二色小学校・第五中学校の児童・生徒を対象に同様のアンケートを行いました。その結果をアンケート用紙に掲載し、お届けします。

子どもたちの意見を参考にさせていただき、家族でよく相談してご回答ください。

## 義務教育学校の校歌歌詞・校章デザインを募集します！

12月26日(月)~1月20日(金)まで、義務教育学校の校歌の歌詞に入れたい言葉やフレーズと、校章のデザインを募集します。

応募資格は、本市に在住の方または市外在住で本市にゆかりのある方（市内勤務者や市内の学校の卒業生など）です。

第五中学校区にお住いのみなさまへは、1月広報といっしょに応募用紙を配付します。また、1月広報やホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

ご応募、お待ちしております。

義務教育学校設置のページ  
(貝塚市ホームページ内)

次回会議は令和5年1月26日(木)19時から開催します。

お問合せ：貝塚市教育委員会事務局 教育総務課 山本 (Tel433-7106)  
学校教育課 永井 (Tel433-7114)  
Mail kyoikusomu-h@city.kaizuka.lg.jp



# 田中 保和氏による研修会を行いました。

## ● 義務教育学校を設置する意味

### ◆ 多くの子どもの中で学ぶことが大切

- 施設を一体化することで、9学年の子どもの学び舎となり、学年の枠をこえた交流の機会が増える。

### ◆ 子どもの成長を見ていくこと

- 校長が1名の管理体制となることで、学校教育計画が一本化され、9年間を通じた一貫した方針で、子どもの心と体を育むことができる。

## ● 義務教育学校がめざすもの

### ◆ 小中一貫教育の進化・深化

- 施設一体型となることで、教職員の連携が密になり、これまで取り組んできた小中一貫教育の成果をさらに進化・深化することができる。

## ● 新しい学校づくりにおいて大切なこと

### ◆ 児童生徒に、自分たちの意見が反映された新しい学校で学べる喜びを感じてもらえること

#### ➢ そのためには

- ① 児童生徒、保護者の意見をできるだけ反映させる。
- ② 新しい方針や仕組みに対する不安を払拭し、ワクワクしてもらう。
- ③ 地域の方々に応援されていることを感じてもらう。

今回、講師にお招きした田中 保和氏は、現在、柏原市教育委員を務めておられ、貝塚市においても小中一貫教育の推進にご協力いただいています。

研修会では、今までの二色小・五中の小中連携の取組みを振り返ったうえで、義務教育学校を設置する意味、義務教育学校がめざすもの、新しい学校づくりにおいて大切なことについて、お話いただきました。また、開校準備委員会NEWSのNo.3でお示しさせていただいた、義務教育学校のグランドデザインにつきましても、よく考えられていると高い評価をいただきました。

今回の研修を通して、義務教育学校を開設することの意義を改めて確認できました。田中氏から聞かせていただいた内容を参考にしながら、子どもたちが新しい学校で学べることに喜びを感じ、保護者や地域の方々からも応援していただけるような学校をつくるため、準備委員会で行う議論に皆様のご意見を反映させてまいります。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。